

○県立おおたかの森高校

児童生徒は現在1400人を超え、5年後には2500人を超えます。加えて県立高校生も一部通学で使用します。横断歩道の幅がその規模にあっていません。歩道への車両侵入を考慮するあまり、横断歩道入口までのガードレール配置は歩道に入りきれない児童生徒が出てしまい、かえって危険です。

横断歩道と歩道入口の拡幅こそ課題解決策ですが、それらができずガードレール設置のみというのであれば、少なくとも、ガードレールは縦ポールのみ、児童生徒数が落ち着いてから、市が横のポールを設置できるよう、現場の実態に配慮して下さい。



当初計画案では横断歩道が予定されていたはずですが。→部分のガードレールが未設置であることからもうかがえます。
この場所に横断歩道を設置することで、現在の横断歩道(=)を2度横断する仕組みを切り替えられます。これは現場に立つ小中学校教員の要望であり、交通安全指導員からも指摘されています。